

大使館情報

2018年9月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（8月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（8月の出来事）

[内政]

- (1) 2018年大統領選挙の立候補届けが終了
- (2) 大統領候補の支持率・世論調査結果
- (3) 自由権規約委員会がルーラ出馬に関するインフォメーション・ノート発出
- (4) ルーラ元大統領の大統領選候補者登録の却下
- (5) ロライマ州の治安維持のため軍隊を出動
- (6) 個人情報保護法の成立

[外政]

- (1) 伯政府、武器貿易条約を批准
- (2) テメル大統領のパラグアイ大統領就任式出席
- (3) 連邦上院における「日本人ブラジル移住110周年特別式典」の開催
- (4) 連邦下院における「全国中国移民の日」式典の開催

3. トピックス

- (1) ブラジルによる日本産食品の輸入規制撤廃
- (2) 連邦上院議会における日本人ブラジル移住110周年特別式典の開催
- (3) 「和牛と泡盛の夕べ」の開催（在サンパウロ日本国総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（8月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、8月31日時点で、GDP成長率予測を、2018年は1.44%と下方修正し、2019年は2.50%で据え置いた。インフレ率については、2018年は4.16%、2019年は4.11%と下方修正した。

(イ) 6月の鉱工業生産指数は、5月のトラック運転手のストライキの影響による下落からの反発により、前月比では+13.1%となり、2002年の統計開始以来、高い数値を記録した。前年同月比は+3.5%の増加となった。

(ウ) 6月の小売売上高は、前年同月比+1.5%で15か月連続でプラスを記録したほか、前月比では▲0.3%となり、2か月連続でマイナスを記録した。

(エ) 全国の失業率（5～7月の移動平均）は12.3%となり、前回の公表値（4～6月の移動平均）から0.1%下落して4か月連続で改善した。

(オ) 7月の貿易収支は、輸出額は228.70億ドル（前年同月比+21.9%、前月比+14.0%）、輸入額は186.43億ドル（前年同月比+49.5%、前月比+30.17%）で、差引き42.27億ドル（前年同月比▲32.8%、前月比▲26.4%）となり、41か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 7月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で0.33%となり、前月の1.26%から下落した。また、過去12か月累計では4.48%となり、政府のインフレ目標（4.5%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) ブラジルの郵便事業者「コレイオス」は、ブラジルに到着する全ての国際郵便小包に対して、15レアルの手数料を課すことを決め、8月27日から徴収を開始。

(イ) 7月の税収額が1,296億レアル（前年同月比12.8%増）となり、2011年以降の最高額を記録。今年1月～7月の税収額は8,438億レアル（前年の同期比7.7%増）を記録し、2014年以降で最も大きな増加率を記録。

(ウ) 8月29日、テメル大統領が連邦裁判所判事の給与引き上げと、公務員給与の増額を決定。政府は公務員給与の調整により、69億レアルを節約できると試算していた。

(3) 中銀の金融政策等

(ア) 7月31日・8月1日、中銀の金融政策委員会（Copom）は、前回に引き続き政策金利（Selic）を年率6.50%に据え置くことを全会一致で決定。政策金利の据え置き決定は3会合連続となった。次回は9月17日及び18日に開催予定。

(イ) 8月30日、レアル安対応のため2ヶ月ぶりにスワップ入札を再開。1ドル=4.21レアルから4.14台後半まで反発。

(4) 為替市場

(ア) 8月の為替レートは、前半はトルコの通貨リラ暴落を契機に新興国通貨が売られたこと、後半はブラジル大統領選挙で市場が待望する中道派候補への支持率伸び悩みが報道されたこと及びアルゼンチンペソが急落したことによって一貫してレアル売りが進み、1ドル4レアルを突破。

(イ) 月の前半は、トルコショックにより新興国通貨全般が売られ、レアル安が加速。
(ウ) 月の後半は、大統領選挙の調査結果が危機感を煽り、さらに隣国アルゼンチンの債務返済に不透明感が高まったことから、ドル買いが増加。1ドル4レアルに突入。月末の終値は1ドル=4.0540レアルとなった。

(5) 株式市場

(ア) 8月のブラジルの株式相場 (Ibovespa指数) は、前半は下落傾向、後半は75.000~78.000ポイントのレンジで推移。

(イ) 月の前半は、下落傾向。3日に81.4351を記録。その後、下落を続け、10日のトルコショックにより76.000ポイント台に急落。その後、78.000ポイント代まで反発。

(ウ) 月の後半は、大統領選挙の調査結果を受け、21日に75.180ポイントに下落。それ以降は、75.000~78.000ポイントのレンジで推移。

2. ブラジル政治情勢 (8月の出来事)

【内政】

(1) 2018年大統領選挙の立候補届けが終了

8月15日、大統領選の立候補届けが期日を迎え、計13人の大統領候補が登録を申請した。翌日から選挙活動が解禁となり、8月17日には、8人の大統領候補が参加する形で初のテレビ討論会が実施された。

(2) 大統領候補の支持率・世論調査結果

8月20日~21日、13人の大統領候補に関して、データ・フォーリャ紙が行った支持率調査の結果は以下のとおり。

1位：ルーラ元大統領 (PT)	: 39% (前回30%)
2位：ボルソナロ下院議員 (PSL)	: 19% (前回17%)
3位：シルヴァ元環境相 (REDE)	: 8% (前回10%)
4位：アルキミンSP州前知事 (PSDB)	: 6% (前回6%)
5位：ゴメス元国家統合相 (PDT)	: 5% (前回6%)
6位：ディアス上院議員 (Podemos)	: 3% (前回4%)
7位：アモエドNOVO設立者 (NOVO)	: 2% (前回無し)
8位：メイレス前財務相 (MDB)	: 1% (前回1%以下)
9位：ボウロスMTST構成員 (PSOL)	: 1% (前回1%以下)
10位：ダシオロ下院議員 (Patriota)	: 1% (前回無し)
11位：ヴェラPSTU党創設者 (PSTU)	: 1% (前回無し)
12位：ゴラル元RS州議員 (PPL)	: 0% (前回1%以下)
13位：エイマエルDC党党首 (DC)	: 0% (前回無し)

(3) 自由権規約委員会がルーラ出馬に関するインフォメーション・ノート発出

8月17日、自由権規約委員会は、ルーラ元大統領の控訴手続が継続している間は、同元大統領

の出馬を認めるべきとして、伯政府に暫定的措置を取るよう勧告するインフォメーション・ノートを発出。これに対して、伯外務省は同日付で非難声明を発出。

(4) ルーラ元大統領の大統領選候補者登録の却下

8月31日、選挙高等裁判所はルーラ元大統領の立候補申請を巡る審査を行い、6対1で申請を認めない判断を下した。ウェベル議長を含む過半数が「フィシャ・リンパ」法に基づき出馬資格なしと判断した。更に同裁判所は、PTが10日以内にルーラ元大統領に代わる候補者を指名するよう命じ、ルーラ元大統領を候補者とする同党の選挙キャンペーンも禁止した。ルーラ元大統領の弁護団は、不服申し立てを行う方針。

(5) ロライマ州の治安維持のため軍隊を出動

8月28日、テメル大統領は、ロライマ州におけるベネズエラ避難民の流入の増加と地元住民との間の緊張を受けて、治安維持のため同州に対する軍隊の出動を命じる大統領令を裁可した。期間は8月29日～9月12日まで。同州では地元住民とベネズエラ避難民の衝突が発生しており、与党内には国境閉鎖を求める声も出ている。

(6) 個人情報保護法の成立

8月14日、テメル大統領は、個人情報保護法を裁可した。この法律はオンライン及びオフライン上における情報の収集、加工、保管、共有についての規則と義務を定め、かつ不履行の場合の罰則も定めている。施行は18ヶ月後。

【外政】

(1) 伯政府、武器貿易条約を批准

8月14日、伯政府は、国連本部において、武器貿易条約の批准書を寄託した。これにより、伯は2018年11月12日をもって同条約締約国となる。

(2) テメル大統領のパラグアイ大統領就任式出席

8月15日、テメル大統領は、ベニテス・パラグアイ大統領の就任式に出席した。前日の14日、伯パラグアイ両国は、アパ川に掛かる橋梁（ポルト・ムルティーニョ市（マトグロッソ・ド・スール州）とパラグアイのサン・ラサロ市間）の建設のための協定に署名。

(3) 連邦上院における「日本人ブラジル移住110周年特別式典」の開催

8月27日、連邦上院・本会議場において、エリオ・ジョゼ上院議員の提案により、「日本人ブラジル移住110周年特別式典」が開催された。上院議員、下院議員、伯外務省高官、日系社会、伯外務省リオブランコ研修所研修生等が出席。

(4) 連邦下院における「全国中国移民の日」式典の開催

8月15日、連邦下院・本会議場において、「全国中国移民の日」（2018年6月26日制定）慶祝式典が開催された。中国大使、伯中議員戦線会長、中国企業関係者、華人有力者等が出席。

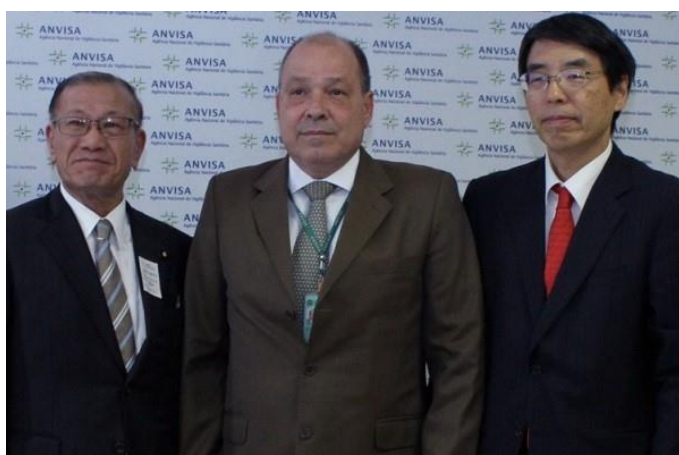
3. トピックス

(1) ブラジルによる日本産食品の輸入規制撤廃

8月20日、宮腰光寛内閣総理大臣補佐官がブラジル国家衛生監督庁（ANVISA）のフェルナンド・ガルシア長官代理を訪問された。宮腰総理補佐官から、福島県産食品の輸入規制の撤廃を要請し、同長官代理からは、この場で当該規制の撤廃を正式に決定する文書に署名を行う旨の回答があり、宮腰総理補佐官立会いの下で同署名が行われた。

上記決定を受け、8月21日、ブラジル政府は、東京電力福島第一原発事故を受けたブラジルによる日本産食品の輸入規制の撤廃に関する決定を発表した。

ブラジルは、これまで同国に輸入される福島県の全ての食品について、我が国政府作成の放射性物質検査証明書の提出を求めていたが、今般の発表により、8月21日に当該規制が撤廃されることとなった。



宮腰総理補佐官、ガルシア長官代理と山田大使



宮腰総理補佐官とガルシア長官代理
(署名した文書とともに)

(2) 連邦上院議会における日本人ブラジル移住 110 周年特別式典の開催

8月27日、連邦上院本会議場において、日本人ブラジル移住 110 周年特別式典が開催された。エリオ・ジョゼ上院議員が司会進行を務め、山中公使が大使代理として来賓出席した。

冒頭、エリオ・ジョゼ上院議員から、日伯両国は、日系社会を通じて特別な関係を形成していること、伯社会の各分野に日本文化が浸透していること等が紹介された。山中公使からは、近年、要人往来が活発化しており、本年は、皇太子殿下の御訪伯、オリヴェイラ上院議長の日訪、ヌネス外務大臣の日訪、河野外務大臣の訪伯、更に7月には110周年をハイライトする眞子内親王殿下の御訪伯が実現したこと等を紹介し、引き続き両国関係を更に強化していく決意を表明した。

(山中公使の挨拶日本語版はこちら)

(山中公使の挨拶ポルトガル語版はこちら)

Senado TV の放送は下記リンクから。

<https://youtu.be/2ovk9Qd4RZA>



左から、スギノ伯中西部日伯文化協会連合会会長、イシタニ外務次官補佐官、斉藤 JICA 伯事務所長、山中公使、エリオ・ジョゼ上院議員、仏教僧サイトウ氏、サボイア外務大臣官房長、ヴィトール・リップピ下院議員他



山中公使による挨拶



サボイア外務大臣官房長による挨拶

(3)「和牛と泡盛の夕べ」の開催（在サンパウロ日本国総領事館）

8月21日、ジャパン・ハウス サンパウロにて、在サンパウロ日本国総領事館及びJETROサンパウロ事務所の共催により、日本食普及のためのレセプション「和牛と泡盛の夕べ」を開催した。本レセプションには、来伯中の宮腰光寛・内閣総理大臣補佐官（農林水産物の輸出振興等を担当）も出席された。

レセプションでは、伯国三菱商事から提供していただいた鹿児島県産和牛を利用し、当地の有名日本食レストラン「藍染」を運営する白石シェフが、その場で調理の様子を披露しつつ、和牛を様々な日本食に仕立て上げ、参加者に提供した。また、泡盛、日本酒、芋焼酎、沖縄県の地ビールといった日本のお酒を提供するとともに、日本の泡盛マイスターと当地のバーテンダーが泡盛を使ったカクテルを作り、そのパフォーマンスも含め、参加者に楽しんでいただいた。そのほか、和牛や泡盛をPRするためのプレゼンテーションが行われた。

当日は、伯連邦議会議員（ケイコ・オオタ議員）、プレス、インフルエンサー、有名食通タレント、レストラン関係者、食品輸出入業者、日系社会関係者等、約100名が参加した。参加者からは、「今までに私が食べたものの中で最高の牛肉だ」、「ブラジルでは量から質への転換が進んでお

り、絶対に気に入られるであろう」といった反応があった。また、レストラン関係者から、「牛肉の購入を検討しており、価格やコンタクト先を知りたい」との反応もあった。

レセプションの様子は、NHK、時事通信、サンパウロ新聞等によって報道されたほか、BAND（当地プレス）によるテレビ放送も行われた。

<BANDによるテレビ放送>

<https://tvterraviva.band.uol.com.br/noticia/100000928838/japao-inicia-exportacoes-de-carne-wagyu-para-o-brasil.html>



レセプションの様子



白石シェフによる和牛料理



バーテンダーによるパフォーマンス

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) 墨絵と書道：瞬間の表現力（サンパウロ）

日時：2018年9月18日（火）～10月30日（火）

火曜日～金曜日 10：30～19：30

土曜日 9：00～17：00

場所：国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館

Avenida Paulista, 52 - 3º andar, São Paulo - SP, Brasil

内容：9月から10月にかけて、国際交流基金サンパウロ日本文化センター図書館にて、墨絵と書道の芸術に焦点を当てた展示を実施する。本展示は、ブラジル書道協会の支援を受け、ブラジル在住の専門家の作品の展示も実施され、伝統的な日本の芸術表現を楽しむものとなっている。

URL：http://www.fjsp.org.br/

(イ) 村田沙耶香の「コンビニ人間」についての講演会（サンパウロ）

日時：2018年9月19日（水）19：00～21：00

場所：ジャパンハウス・サンパウロ

Avenida Paulista, 52 - 1º andar, São Paulo - SP

内容：翻訳者のRita Kohl氏、日本研究者のVictor Hugo Kebbe氏及びDonatella Natili氏が参加し、村田沙耶香の作品の「コンビニ人間」を出発点にして、現代日本文学と「コンビニ人間」に含まれる現在社会問題などについての講演、トーク及びQ&Aセッションを実施。

URL：[http:// www.estacaoliberalidade.com.br](http://www.estacaoliberalidade.com.br)

(ウ) 第31回日本週間（ベレン）

日時：9月10日（月）～15日（土）

場所：汎アマゾニア日伯協会敷地内各会場

内容：生花・折紙・料理・算盤・琴・和太鼓・切紙・書道・民謡の各講習会、生花・書道・折紙展示会、日本政府留学制度の説明会、浴衣・ロリータ衣装デモンストレーション、和太鼓や民謡の実演等を通して日本文化を紹介。

(エ) 第28回春祭り（クリチバ）

日時：9月22日（土）～23日（日）

場所：クリチバ市バリグイ公園内ルノー展示場

内容：クリチバ市3大祭りの一つである春祭りにて当館ブースを出店し、日本文化遺産の模型の展示、日本語及び日本の伝統玩具体験スペースの設置等を通して日本文化を紹介する。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

2017年12月8日付で内容を改訂したので御確認下さい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで御確認下さい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html